



- ① 【販路開拓】 『グルメショー』『ギフトショー』出展者募集
- ② 【助成金】 『安全衛生教育受講助成』お知らせ
- ③ 【助成金】 『郡上市商工会災害防止助成金』お知らせ
- ④ 【研修会】 『税務研修会』開催のご案内
- ⑤ 【研修会】 『電話対応マナー研修』のご案内

郡上市商工会 LINE公式アカウントを開設しました！
QRコードを読み込んで、ぜひ友だち追加お願いします
経営支援施策の最新情報をいち早くお知らせします！



令和6年4月30日時点

支援内容	5月相談日	支援内容	6月相談日
経営	10日(金) 22日(水)	経営	3日(月) 17日(月)
法律	31日(金)	法律	27日(木)
税務	14日(火)	税務	11日(火)
労務	8日(水)	労務	12日(水)
IT	17日(金)	知財	20日(木)

融資制度名	利率 (%)	保証率 (%)	適用
経営改善貸付	1.25	—	
普通貸付	1.15~3.25	—	
創業ローン	1.20	—	創業
市チャレンジ	1.9	0.8	創業
支援融資	2.1	0.45~1.9	異業種
市小口融資	0.75	0.5~2.2	

《出張所カレンダー》

曜		5月				6月				
大和	火	/	7	14	21	28	4	11	18	25
白鳥	木	2	9	16	23	30	6	13	20	27
高鷲	水	1	8	15	22	29	5	12	19	26
美並	木	2	9	16	23	30	6	13	20	27
明宝	火	/	7	14	21	28	4	11	18	25
和良	水	1	8	15	22	29	5	12	19	26

- ※ **5月23日(木)**は郡上市商工会通常総代会開催のため、**白鳥出張所と美並出張所は午後より閉所**致します。
- ※ 都合により出張所開設日であっても閉所させていただくことがあります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

小規模企業景気動向調査 [2024年2月期調査]

～経済の正常化が進みつつあるが、コスト高騰に価格転嫁が追いついていない小規模企業景況～

<産業全体>

2月期の産業全体の景況は、採算・資金繰り・業況 DI が小幅に改善した一方で、売上額 DI がわずかに悪化した。インバウンド需要の活発化等を中心として、売上額 DI がプラス値を示す業種が増え経済の正常化が進みつつある。資金繰り・採算 DI は6期連続で改善しているものの、全業種においてマイナス値で推移しており、コスト高騰に価格転嫁が追いつかない状況が続いている。

DI	1月	2月	前月比
売上額	8.1	7.0	▲1.1
採算	▲16.8	▲14.2	2.6
資金繰り	▲14.1	▲11.4	2.7
業況	▲11.3	▲7.7	3.6

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)> 人手不足や価格転嫁等の問題が山積している製造業

製造業は、採算・資金繰り・業況 DI が小幅に改善、売上額 DI が小幅に悪化した。食料品関連では、暖冬の影響によりシーズン向けの商品を扱う店舗は売上が伸び悩んでいる。慢性的な人手不足は続いていて苦しい状況。繊維工業関連の事業者は、季節商品の製造時期で、業務量が多いものの採算は悪い。メーカーも物価高の影響で単価を引き上げることが難しいとの話で、価格交渉がうまく進んでいない。機械金属関連の事業者は、受注が減少傾向。

DI	1月	2月	前月比
売上額	10.5	8.3	▲2.2
採算	▲17.8	▲13.6	4.2
資金繰り	▲13.9	▲11.8	2.1
業況	▲10.4	▲8.0	2.4

<建設業> 災害特需で需要はあるが、材料不足等で稼働率が低下している建設業

建設業は、採算・資金繰り DI が小幅に改善、業況 DI は大幅に改善、売上額 DI はわずかに悪化した。記録的な暖冬で、冬場の除雪を請け負っている建築業者の収入が大きく減少。災害復旧工事等での需要はあるが、工事が一斉稼働したことにより、材料不足が発生している。降雪が少なく、多くの事業者が例年より早く着工でき業況は上向き傾向。年度内での工期終了案件が多く、繁忙期では人手不足で工期の長期化や回転率低下が課題。

DI	1月	2月	前月比
売上額	12.4	11.4	▲1.0
採算	▲19.7	▲14.8	4.9
資金繰り	▲15.7	▲11.6	4.1
業況	▲12.0	▲6.3	5.7

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)> 売上額 DI は悪化も、価格転嫁が進んでいる小売業

小売業は、採算・資金繰り・業況 DI が小幅に改善した一方で、暖冬で季節性商品の売れ行きが落ち込み、売上額 DI が小幅に悪化した。コロナ禍はすべて袋詰めで販売していたが、コロナ前のように量り売りができるようになってきたのは好材料。年末年始消費の反動が2月の売上に影響している。耐久消費財は、電気料金値上げの影響に伴い省エネ家電販売の動きが逡巡。各種商品の値上げが進み、必要な商品を必要な数だけ買い上げる顧客傾向にある。

DI	1月	2月	前月比
売上額	2.0	▲0.2	▲2.2
採算	▲21.0	▲18.4	2.6
資金繰り	▲18.6	▲15.2	3.4
業況	▲17.3	▲13.7	3.6

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)> コスト高の影響や価格転嫁に苦慮しているサービス業

サービス業は、売上額・資金繰り DI がわずかに改善、業況 DI が小幅に改善、採算 DI がわずかに悪化した。宿泊業ではインバウンドの影響により売上確保につながっている。クリーニング関連では、設備更新ができていない事業者では、燃費の悪さが経費圧迫の問題となっている。原材料エネルギー価格の高止まりが続き、価格転嫁に苦戦。理・美容関連は昨年比較で好転している。既存店は新規需要獲得が存続の分かれ目となる。

DI	1月	2月	前月比
売上額	7.5	8.7	1.2
採算	▲9.0	▲10.0	▲1.0
資金繰り	▲8.0	▲6.8	1.2
業況	▲5.7	▲2.8	2.9

調査概要

- ・調査対象：全国 302 商工会の経営指導員（有効回答数：215/回答率 71.1%）
- ・調査時点：2024年2月末
- ・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。